令和6年9月27日

令和6年 第9回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

令和6年第9回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 令和6年9月27日（金曜日）午前10時00分～午前10時40分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第4・5会議室

3. 出席委員 1番 岡田博史（教育長）

2番 岩田圭子

3番 藤宮志津子

4番 内野裕子

5番 鈴木一徳

4. 欠席委員 なし

5. 説明職員

教育部長 田口茂夫

教育部参事兼
教育指導課長
学校施設更新
等担当課長兼
調整担当課長

石田玲奈

教育総務課長 加藤泰正

一ツ木正美

新校開設担当
課長 大野祐司

青少年課長

越中洋

生涯学習課長 岩野秀夫

中央公民館長

伊藤智

中央図書館長 浴靖子

6. 書 記

庶務係長 長瀬由美子

主 事 濱仲あかね

○議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 教育長諸務報告
- 第 3 第 29 号報告 事務の臨時代理の承認について
- 第 4 第 30 号報告 事務の臨時代理の承認について
- 第 5 第 31 号報告 事務の臨時代理の承認について
- 第 6 第 39 号議案 東大和市立学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則
- 第 7 第 40 号議案 東大和市就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令
- 第 8 その他報告事項
 - (1) 令和 6 年度東大和市小学校教科担任制等推進校事業補助金交付要綱(案)について
 - (2) 中央図書館レファレンス室の自習利用(試行)について
 - (3) 中央図書館レファレンス室の一部における自習利用について

◎開会の辞

○岡田教育長 皆さん、おはようございます。

ただいまから、令和6年第9回東大和市教育委員会定例会を開催します。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○岡田教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、藤宮委員にお願いします。

○藤宮委員 分かりました。

◎日程第2 教育長諸務報告

○岡田教育長 日程第2、教育長諸務報告を行います。

資料を御覧ください。

8月17日土曜日、第20回平和市民のつどいに出席しました。今年の平和市民のつどいは、熱中症の心配等から、式典は市民体育館で行いました。当日は大勢の市民の方にいらしていただきましたが、非常に厳かな雰囲気の中で無事に終了することができました。また、平和の大切さ等を皆さんで共有することができたかと思っています。参加いただきましてありがとうございました。

8月22日木曜日、教育委員会定例会に出席しました。

8月24日土曜日、小学生アイススケート教室を視察しました。こちらは、プロスケーターの織田信成さんをゲストに、アイスホッケーの女子のチームであるSEIBUプリンセスラビッツの選手の方が子供たちにアイススケートを教えるという事業で、教育委員会の事業ではありませんが、アイススケート教室が東大和市のスケートリンクで行われました。近隣の市のお子さんと一緒に、子供たちは非常に喜んでおられて、またスケートを滑りたいという声も聞かれました。

8月27日火曜日、校長会役員会に出席しました。

8月29日木曜日、校長会に出席しました。

9月1日日曜日、清原中央公園運動広場オープニング式典・イベントに出席しました。教育委員の皆様にも御出席いただきましたが、人工芝が緑まぶしく、当日は雨がざっと降って天候はあまり恵まれなかったところもありますけれども、

後半はアルティメットの試合やアルティメットの体験、また、ウォーキングサッカーという歩いて行うサッカーも体験することができて、非常に盛り上がったイベントになったかと思っています。現在も様々な団体、また、市民の方にも御利用いただいている状況がありますけれども、これからも愛される広場になることを願っているところです。

9月3日火曜日から9月26日木曜日まで、令和6年第3回市議会定例会に出席しました。

以上です。

教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告につきまして、御質疑等ありましたら、御発言をお願いします。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 第29号報告 事務の臨時代理の承認について

○岡田教育長 日程第3、第29号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を議題に供します。

報告の説明をお願いします。

田口教育部長。

○田口教育部長 ただいま議題となりました第29号報告 事務の臨時代理の承認についてにつきまして、提案理由並びに内容の御説明を申し上げます。

本件は、令和6年度東大和市一般会計補正予算（第2号）であります。一般会計補正予算（第2号）は、令和6年第3回市議会定例会に第54号議案として提出され、9月3日に原案どおり可決されていますが、前回の教育委員会定例会開催時点では、市長との予算の最終調整が終了していませんでした。その結果、市議会に提出する前に教育委員会定例会に付すことができず、令和6年8月27日付で事務の臨時代理をさせていただきましたので、今回の教育委員会定例会にて御報告を申し上げ、御承認をお願いするものであります。

それでは、内容について御説明申し上げます。

お手元に御配付の補正予算事項別明細書に基づきまして御説明申し上げます。

補正予算書の19ページをお開きください。

初めに、歳入につきまして御説明申し上げます。

16款都支出金は、3,261万6,000円の増額であります。

3項委託金、6目教育費委託金、1節教育総務費委託金は20万円の増額であります。第八小学校が東京都から小学校教科担任制等推進校に指定されたことに伴う学力・授業力向上推進事業に係る委託金の計上であります。

以上のようにいたしまして、教育委員会各部署における歳入の補正予算額は20万円の増額であります。

57ページをお開きください。

次に、歳出につきまして御説明申し上げます。

10款教育費は、1,870万7,000円の増額であります。

1項教育総務費、3目教育指導費、15の学力・授業力向上推進事業費は20万円の増額であります。第八小学校が東京都から小学校教科担任制等推進校に指定されたことに伴う事業補助金の計上であります。

2項小学校費は、633万7,000円の増額であります。

1目学校管理費、1の小学校運営費は742万1,000円の増額であります。老朽化に伴う施設修繕料の増額であります。

5目学校建設費、2の第七小学校・第九小学校統合新校建設事業費は、108万4,000円の減額ではあります。第七小学校の南側の狭隘（きょうあい）の用地の購入について市長部局で購入することから、2款総務費に科目を変更するものであります。

3項中学校費、1目学校管理費、1の中学校運営費は792万円の増額であります。老朽化に伴う施設修繕料の増額であります。

59ページをお開きください。

4項社会教育費は、334万5,000円の増額であります。

2目公民館費の1の中央公民館事業費は203万5,000円の増額であります。舞台吊物について老朽化による落下事故を防止するため、舞台吊物解体工事費を計上するものであります。3の狭山公民館事業費は54万6,000円の増額、4の蔵敷公民館事業費は33万円の増額であります。老朽化に伴う施設修繕料及び改修工事費の増額であります。

4目郷土博物館費、1の郷土博物館管理費は43万4,000円の増額であります。老朽化に伴う施設修繕料及び電気給湯器購入費の増額であります。

5項保健体育費、2目体育施設費、1の体育施設運営費は90万5,000円の増額であります。上仲原公園野球場の排水溝が砂や汚泥で埋まり、うまく排水できていないことから、排水ます等清掃委託料を計上するものであります。

以上のようにいたしまして、教育委員会各部署における歳出の補正予算額は、1,870万7,000円の増額であります。

以上で説明を終了させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。

御質疑がありましたら、御発言をお願いします。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、質疑を終了します。

お諮りします。

第29号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 御異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第4 第30号報告 事務の臨時代理の承認について

○岡田教育長 日程第4、第30号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を議題に供します。

報告の説明をお願いします。

石田教育部参事。

○石田教育部参事 ただいま議題となりました第30号報告 事務の臨時代理の承認についてにつきまして、提案理由並びに内容の御説明を申し上げます。

本報告は、東大和市学校運営協議会委員の任命に伴うものであります。内容につきまして御説明申し上げます。

東大和市立第四中学校の団体役員に着任により、議案書にありますとおり委員の任命をするものであります。

この件につきましては、東大和市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、任命につきまして、令和6年9月1日付で事務の臨時代理を行いましたので、同条第2項の規定により御報告し御承認をお

願います。

以上です。よろしくお願い申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。御質疑があれば、御発言をお願いします。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、質疑を終了します。

お諮りします。

第30号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 御異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第5 第31号報告 事務の臨時代理の承認について

○岡田教育長 日程第5、第31号報告 事務の臨時代理の承認については、人事案件であることから会議を非公開としたいと思いますが、これに賛成の委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

○岡田教育長 賛成者全員、よって会議は非公開とします。

さらに本案の会議録及び会議資料の取扱いにつきましてお諮りします。

本案の会議録及び会議資料につきましても非公開としたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 御異議なしと認め、そのように取扱いします。

ここで関係者以外の退場を求めます。

(一部執行部退場)

(この間非公開)

○岡田教育長 ここで会議の非公開を解きます。退場者の入場を認めます。

◎日程第6 第39号議案 東大和市立学校の通学区域等に関する規則
の一部を改正する規則

○岡田教育長 日程第6、第39号議案 東大和市立学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則、本件を議題に供します。議案の説明をお願いします。

田口教育部長。

○田口教育部長 ただいま議題となりました第39号議案、東大和市立学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則につきまして、提案理由並びに内容の御説明を申し上げます。

本件は、令和6年10月15日から、当市における住民情報などを管理する基幹系システムが、国が進める標準化に対応することに伴い、既存の通知等を国の定める様式に変更することから、東大和市立学校の通学区域等に関する規則の一部を改正するものであります。

なお、現在の市の条例規則等の条文規定は、原則、様式を規定しないこととしていることから、本規則から削除するものであります。

それでは、内容につきまして、議案資料の新旧対照表で御説明をさせていただきます。

1 ページを御覧ください。

第3条中「様式」を「通知書」に、同条第1号中「就学通知書（第1号様式）」を「入学通知書」に、同条第2号中「就学通知書（第2号様式）」を「転入学通知書又は編入学通知書」に、また、次の2ページになりますが、同条第3号中「就学通知書（学区の変更）（第2号様式の2）」を「新設校・廃校に伴う入学通知書」に変更するものであります。

次に、第5条第1項中「（第3号様式）」を削り、また、次の3ページになりますが、同条第3項中「指定学校変更通知書（第4号様式）」及び「指定学校通知書（第5号様式）」を「指定学校変更通知書」に変更し、必要な文言修正を行い、また、同条第4項中「（第6号様式）」を削るものであります。

次に、第6条第1項中「（第7号様式）」、また、次の4ページになりますが、同条第3項中「（第8号様式）」、同条第4項中「（第9号様式）」をそれぞれ削るものであります。

4 ページを御覧ください。

第7条において、「必要な事項」を「必要な様式その他の事項」に改めるものであります。

8 ページを御覧ください。

本規則に規定しています第1号様式から第9号様式を削除するものであります。

9 ページを御覧ください。

附則であります。附則第1項は、本規則の施行日を令和6年10月15日と定めるものであります。

附則第2項は、改正前の規則における第3号様式及び第7号様式については、残存する間は、所要の修正を加え、使用することができるとするものであります。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。御質疑があれば御発言をお願いします。

内野委員。

○内野委員 こちらは特に保護者の方には何か認識をしておかなくてはいけないことなどはないということでしょうか。

○岡田教育長 加藤教育総務課長。

○加藤教育総務課長 ありがとうございます。今回の改正は国の標準様式に合わせるだけですので、特に保護者の方に何かを周知というよりは、様式の文言の変更といったところですので、保護者への周知のほうは予定していません。

以上です。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、質疑を終了します。

お諮りします。

第39号議案 東大和市立学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則、本件を承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 御異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第7 第40号議案 東大和市就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令

○岡田教育長 日程第7、第40号議案 東大和市就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令、本件を議題に供します。議案の説明をお願いします。

田口教育部長。

○田口教育部長 ただいま議題となりました第40号議案、東大和市就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令につきまして、提案理由並びに内容の御説明を申し上げます。

本件は、令和6年10月15日から、本市における住民情報などを管理する基幹系システムについて、国が進める標準化に対応することに伴い、既存の通知等の様式を国の定めた様式に変更することから、東大和市就学援助費支給要綱の一部を改正するものであります。

それでは、内容につきまして、議案資料の新旧対照表で御説明をさせていただきます。

3ページを御覧ください。

第5条第2項中「支給認定通知書」を「就学援助費認定通知書」に、「支給否認通知書」を「就学援助費否認認定通知書」に変更するものであります。

次に、4ページを御覧ください。

第8条第2項中「支給認定取消通知書」を「就学援助費認定取消通知書」に変更するものであります。

次に、5ページを御覧ください。

附則ですが、本要綱の施行日を令和6年10月15日と定めるものであります。

以上でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。御質疑があれば御発言をお願いします。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 では、質疑を終了します。

お諮りします。

第40号議案 東大和市就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令、本件を承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 御異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第8 その他報告事項

○岡田教育長 日程第8、その他報告事項を行います。

報告事項(1) 令和6年度東大和市小学校教科担任制等推進校事業補助金交付要綱(案)について、本件の報告をお願いします。

石田教育部参事。

○石田教育部参事 本要綱は、東大和市立第八小学校が東京都より小学校教科担任制等推進校に指定されたことに伴い、事業費の交付を受けることとなったため、予算の範囲以内で補助金を交付するものに関しまして必要な事項を定めるものです。

なお、小学校教科担任制等推進校は、小学校の学び方、教え方を改革するため、加配された教員等を活用しながら、小学校高学年における専門性の高い教科指導を実現し、中学校教育への円滑な接続を図るとともに、発達段階に応じた指導体制を構築し、学年、専科のまとまりでよりよい多角的・多面的な児童理解の促進を図るなど、学校全体の指導体制の展開を図ることを目的として設置されています。

指定を受けた第八小学校は、体育科において専科教員を加配し、事業委託費として東京都より20万円が交付されるため補助金交付要綱を制定するものであり、本要綱制定につきましては、令和6年9月18日に開催された庁議において報告をしています。

説明は以上です。

○岡田教育長 報告が終わりました。御質疑があれば御発言をお願いします。

岩田委員。

○岩田委員 先ほどの補正予算のところでもこの教科担任制の指定を東京都から受けたというお話を伺ったのですけれども、この東京都から指定を受けるに当たり、その前段階の流れというのはどのような、例えば、八小のほうから手を挙げて受けたいと申し出るのか、その辺りから含めて教えていただきたいと思います。

○岡田教育長 石田教育部参事。

○石田教育部参事 東京都の推進する事業でありますので、東京都が事業の目的等をまず地区の市教育委員会に通知をしてまいります。その後、市教育委員会から各小学校に希望されるか学校長等に昨年度の段階で問うたところ、第八小学校が手を挙げてくださいました。この教科担任制であります、理科と体育科のいず

れかで、学校長の希望するほうの教科において実施をするものでありますことから、第八小学校においては体育科において実施をしたいという意向があったため、東京都に申請をし、申請が承認されたというような流れになっています。

以上です。

○岡田教育長 岩田委員。

○岩田委員 市から1校という限定はあるのですか。それとも何校申し出てもいい事業になっているのですか。教えてください。

○岡田教育長 石田教育部参事。

○石田教育部参事 東京都からは特に何校までというところはありませんが、申請をした後、東京都が採用するか否かを決めまして、採用されて指定を受けた学校がその推進校となります。現在、令和6年度におきましては、都内51地区において87校がこの推進校に指定をされていますので、地区によっては2校指定されている地区もあるかと捉えています。

以上です。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。

補助金の使途は、体育の関係の備品などになるのですか。

石田教育部参事。

○石田教育部参事 補助金の使途ですが、教科担任制の事業を推進するために使用してよいというところでありますので、報償費や備品購入費、消耗品費等に使われます。

また、体育の加配教員が配置されたとしても、体育の授業のみならず、高学年を対象に、例えば、国語や社会科等でも教科担任制を進めているのであれば、その教科においても授業の充実というところでは、この補助金20万円を使用可能となっています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、質疑を終了します。

報告事項(2)中央図書館レファレンス室の自習利用(試行)について、報告事項(3)中央図書館レファレンス室の一部における自習利用について、以上2

件は関連がありますので一括して報告をお願いします。

浴中央図書館長。

○浴中央図書館長 それでは、その他報告（２）中央図書館レファレンス室の自習利用（試行）についてと（３）中央図書館レファレンス室の一部における自習利用について、一括して御報告させていただきます。

まずは資料の２、試行のほうを御覧ください。

中央図書館では、平成27年度から学生等の自習室として施設を試行的に開放していました。毎年、夏と冬の時期に行っていましたが、令和５年度の冬期からレファレンス室の一部を自習用として御利用いただく方式に変更しました。令和６年の夏期の実施状況につきまして資料の２にあります。試行期間は１にありますとおり、令和６年７月１日～８月３１日までの延べ49日間です。

延べ利用者ですが、３にありますとおり319人で、一日平均約7人です。最も利用者が多かったというのは6人ですが、一日に13人御利用があった日が2回ありました。定員は10名ですが、これは同時に13人がいらっしやったというわけではなくて出入りがあってのトータル13人ということです。

それからレファレンス室にある資料を用いた本来の調べものの利用状況ですが、最後の13にありますけれども、こちらの延べ利用者が407人、一日平均で約8人ということでした。このことにより、レファレンス室を自習に定員10名とした場合には、自習利用により本来のレファレンス室の利用者に支障を来すことはなかったと捉えています。

以上が令和６年夏期の試行の結果です。

次に、資料３を御覧ください。

この試行の結果を踏まえまして、10月以降にレファレンス室の一部における自習利用の本実施を開始します。

内容としまして、まず１の、レファレンス室を自習室として開放する目的であります。こちらの自習利用に対応することにより、学生世代の居場所づくりや、落ち着いた環境の中での学習利用の確保により、市民サービスの向上につなげます。

２の対象者等は、これは試行と変わっておりませんが、図書館の利用カードを所持している中学生、高校生、大学生及び進学希望の方です。

３の実施開始日・利用時間ですが、令和６年の10月２日水曜日からです。10月

1日は火曜日で中央図書館は休館日ですので2日から開始します。

利用時間は、午前10時から午後5時までということです。

定員は、試行と同じく10名にさせていただきます。

なお、こちらの自習利用の本格実施を開催した後も、中央図書館2階にありますフリースペースは引き続き設置するため、その方々の目的に応じて両方を使い分けて御利用いただければと考えています。

以上で報告を終了します。

○岡田教育長 報告が終わりました。御質疑があれば御発言をお願いします。

内野委員、お願いします。

○内野委員 今回、本格実施になったということでとてもよかったというところと、またその目的として学生世代の居場所づくりというところもよかったところで、やはり様々なファーストフード店などで学生の姿を見かけることもありますが、市で管理するところで落ち着いて勉強ができるような環境はとても大事だと思いますので、そのようなバックアップは本当にありがたいと思います。これからもよろしくをお願いします。

○岡田教育長 浴中央図書館長。

○浴中央図書館長 ありがとうございます。また、お子様たちもじっくり一人で落ち着いて集中して勉強したい方もいれば、友達と少しおしゃべりしながら楽しみたい方もいるようなので、ケース・バイ・ケースで使い分けて御利用いただければと思っています。ありがとうございます。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。

利用対象者で中・高・大学生、また進学希望の方となっていて、大体で構わないのですけれども、どの年齢層が多いのか分かりますか。

浴中央図書館長。

○浴中央図書館長 統計を取った中では、やはり中学生・高校生で、特に高校生のほうが多いかと考えています。中学生になるとやはり集中して勉強というよりは友達とのほうが少し度合いとして強いのかという印象です。また、割と専門学校のような方が、例えば、保育の試験や宅建の試験など、そのようなものを広げている様子も見受けられました。

○岡田教育長 いかがですか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 試行から今度は正式にレファレンス室の一部を自習利用にするということですので、もし機会がありましたら様子を見ていただけるといいかもしれません。よろしくお願いします。

では、質疑を終了します。

◎閉会の辞

○岡田教育長 以上をもちまして本日予定していました議事日程は全て終了しました。

これをもって、令和6年第9回東大和市教育委員会定例会を閉会します。

お疲れさまでした。

午前 10時40分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会教育長

会 議 録 署 名 委 員